

スーパーグローバル 大学創成支援事業 東京大学成果資料



グローバルキャンパスモデルを実現し、 世界トップ大学・機関との協力を継続的に進める体制を整備

グローバルキャンパス 推進室

国際本部に企画広報、教育推進、
学生交流の3部門を設置

グローバルキャンパス推進本部 (GC本部)

- ・国際本部とその下部組織であるグローバルキャンパス推進室を改組し総長直轄の組織として設置。総長や担当理事のリーダーシップの下、全学の国際展開を牽引するトップダウン型の体制を整備
- ・国際関係三課を経営、教育、研究の各関係部に分け、国際部門内で閉じず全ての関連部署にてグローバル化に取り組む体制を構築

グローバル教育センター(GlobE)及び 国際戦略企画室

- ・GC本部をGlobEと国際戦略企画室の二組織へ改組
- ・GlobEは1958年の薬学部設置以来本学で初めてとなる、単位取得可能な学部レベルの授業科目を提供する組織（学内共同教育研究施設）として設立。構想調書に謳った「グローバル教育機構（仮称）」の実現であり、「国際化教育の全学プラットフォーム」として、全学体制で国際化教育に取り組む体制を確立

2016

2017

2018

2022

2023

グローバル・アドバイザリー ボード(GAB)

- ・設置規則を制定し総長室直下の委員会として正式に設置したことで、大学の意思決定への影響力を拡大
- ・前身のプレジデント・カウンシルと合計で16回の開催実績

グローバル・ナビゲーション ボード(GNB)

- ・UTokyo Compassを指針として、本学がグローバルな活動を行うための方策等について助言、提案等を得ることを目的に活動
- ・総長に直接助言・提言を行う機能を持ち、世界的にも顕著な実績と経験を持つ産業界、学術界、政官界のリーダー13名（うち11名は海外在住）から組織



総合的教育改革の成果①

国際総合力認定制度(Go Global Gateway(GGG))

- 2018年度から**全学部学生を対象に開始**。世界の多様な人々と共に生き、共に働く力を「国際総合力」と名付け、国際総合力の修得に必要な学びや体験を学生自らが考え学内外での活動に参画し条件を満たした場合に認定証を授与
- 2023年度から**学部新生全員が登録**し、国際交流イベントや短期留学プログラム等に参加
- 累計**2,700人**にTOEFL、IELTSの受験料支援を実施
- 2025年度から国際的学修の重要性の理解を深めるとともに、留学等にスムーズに移行できるようオンデマンドによる「基礎講座」を開設予定

グローバル教養科目

- SDGsに関連するテーマを留学生と共に学ぶ**英語による原則20名程度のインタラクティブ形式少人数授業**
- 交換留学生及び全ての学部後期課程学生・大学院学生が対象**
- 2023年度に開始しジェンダー・ダイバーシティ・健康・貧困・GX等をテーマとした**31科目を提供**（2023年度実績）
- 年間80科目、1,600人の履修者を目指す



UTokyo Global Unit Courses(GUC)

- 2021年度開始の**海外生向け有料サマースクール**
- 優秀な海外学生に本学の優れた教育コンテンツをショーケース的に提供、本学学生も受講可
- 受講生には成績と授業時間数に応じて「グローバル・ユニット」が付与され**所属大学での認定により単位互換が可能**
- 2023年度は**320名が参加し約3,600万円の収入を獲得**。持続性ある収益モデルへの転換を達成

Global Education for Innovation and Leadership

- 国際社会における指導的人材の育成を目的とした分野横断型プログラム、**334名の学生が修了**
- 選抜された学部学生約100名が英語での学際的研究プロジェクト、海外派遣等に参加
- COP等の国際会議参加学生や学内表彰（総長賞）受賞者を多数輩出**
- TLPと合わせたグローバルリーダー育成プログラムに対して、**33社の企業**(2024年5月時点)から支援を得て**1,280名の学生を派遣**



その他の主な教育改革

4ターム制の学事暦

2015年度より導入。以前より柔軟な科目履修が可能となり、外国人留学生の受入や、ターム単位や長期休業期間での学生の海外留学プログラムへの参加が促進

学校推薦型選抜

- ・2016年度より導入し、2024年度は91名が入学
- ・国際バカロレアやTOEFL等の外国語外部試験を活用

国際卓越大学院

- ・修博一貫（学修博一貫）の学位プログラム
- ・2016年に開始し2023年度時点で20プログラムを開設

SPRING GX

- ・JSTの次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）事業に採択され2021年から開始した「グリーントランスフォーメーション（GX）を先導する高度人材育成」プロジェクト
- ・理工系のみならず全学の博士課程学生を対象に海外派遣を含む博士人材育成プログラムの提供と1,000名以上への経済的支援を実施

ナンバリング実施割合

- ・1.1%(2013年度)→100%(2018年度～)に増加し目標を達成
- ・学生が段階的に履修を進めるための指針を提供

TLP (Trilingual Program)

- ・英語と他の一言語を徹底的に教育するプログラム
- ・2023年度までに6言語合わせて約930名の修了者を輩出

外国語による授業科目数

- ・1,034科目(2013年度)→2,049科目(2023年度)に増加
- ・学部では238科目→657科目と目標値を達成

PEAK (Programs in English at Komaba)

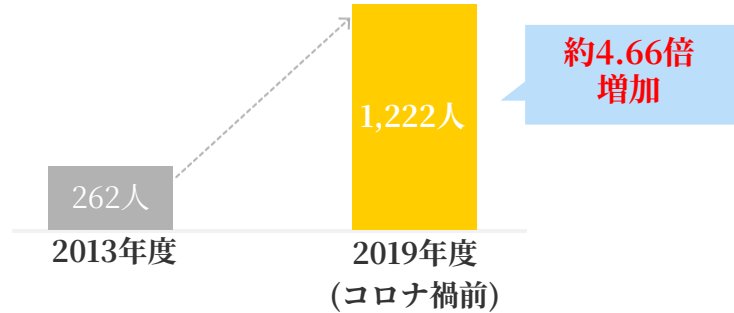
- ・2012年度に設置した英語による学位プログラム
- ・独自の入試により年間約30名が入学し卒業生は累計225名(2023年度時点)
- ・後期課程コースは一般入試入学者等にも開放

学生の国際流動性が大幅に向上

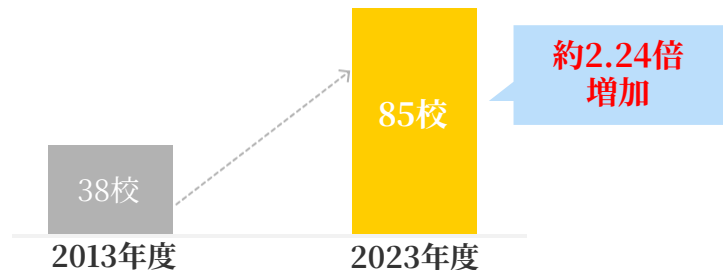
協定派遣人数



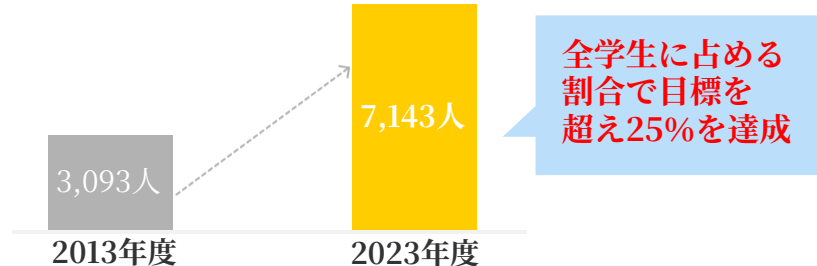
協定受入人数



全学交換留学協定校数

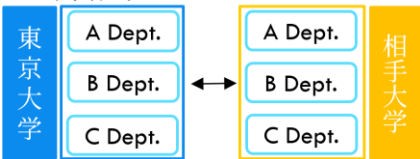


外国人留学生数(通年)



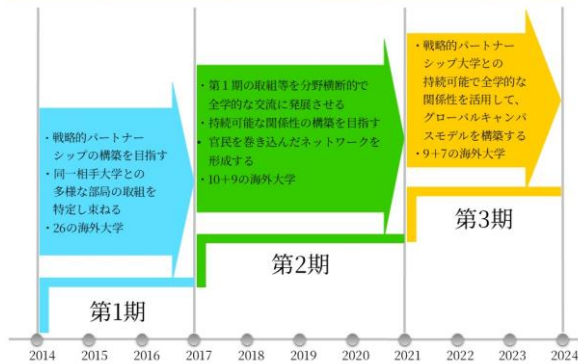
戦略的パートナーシップ大学プロジェクトの成果

<戦略的パートナーシップ>



通常の協定では各部局単位で交流を実施するのにに対し、戦略的パートナーシップでは各部局での交流を大学全体として束ね分野横断的な交流を推進

戦略的パートナーシップ大学プロジェクトの工程

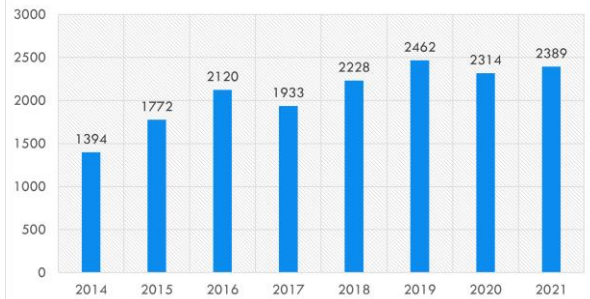


主要な戦略的パートナーシップ校 8校



戦略的パートナーシップ協定ないし覚書を締結した相手校がSGU事業開始前の**1大学→8大学(群)へ増加**。外部評価では「本学のSGU事業における最大の成果」との評価を獲得

戦略的パートナーシップ第3期で支援した相手校との国際共著論文数の推移



大学全体の国際共著論文数も**2,797件(2013年度)→4,613件(2021年度)**に増加し外部評価においても「**大変素晴らしい成果**」との評価を獲得

本プロジェクトでの交流実績

	実交流		オンライン	
	派遣	受入	派遣	受入
学生	2409人	2030人	765人	4416人
研究者	1666人	1190人	441人	409人

※統計開始年度は、学生交流(2015年度～)、研究者交流(2016年度～)、オンライン交流(2021年度～)。オンラインは“アクセス数”を含む